

図書館の地域資料のオープンデータ化で大阪の魅力を発信（行政事務の効率化）（大阪府大阪市）

取組概要

- ・利用者の利便性の向上、行政事務の効率化を目指して、図書館が所蔵する、著作権が消滅した地域資料の画像をオープンデータとして提供開始（平成29（2017）年3月）。
- ・加工も商用利用も許容するライセンスで提供することにより、大阪の魅力を発信し、地域経済に資することも目指した。

取組の効果

- ・オープンデータ化により事務量が大幅減。デジタルアーカイブのアクセス件数は2.9倍まで増加。オープンデータの利活用が広がっている。
- ・取組に対して、外部からの評価も。

創意・工夫した点

- ・デジタルアーカイブ画像のオープンデータ化は公共図書館では初めての試み

他団体へのアドバイス

- ・データの公開だけでなく、市民に広く活用していただくための仕組みづくりが必要

人口2,746,983人（R2.4.1現在）

担当 教育委員会中央図書館

二次利用申請件数とアクセス件数の推移



二次利用の申請が68%減少

「OML48チームHIKIFUDA(ひきふた)選抜総選挙」



継続した周知・広報の取組